

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価

都道府県名	長野県	事業実施主体	泰阜村	地域再生計画名	安全・安心の村づくり計画
計画期間	令和2年～令和6年	評価責任者	泰阜村 振興課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
		基準年度		年度	中間実績	基準年度		指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	孤立集落の減少	1集落	R2	1集落	R4	1集落	0集落	R6	○	3	2	今後の林道改良工事により孤立0集落の目標達成を目指していく。
	指標2	あまごの売上の増加	3,000万円	R2	3,200万円	R4	3,200万円	3,500万円	R6	○	3	2	事業が順調に進んでおり、あまごの成魚の加工品の出荷及び稚魚の販売搬出が目標値を上回っており、目標達成見込みである。
	指標3	林業の振興と森林整備の促進 (徐間伐面積の増加)	20ha	R2	22ha	R4	12ha	25ha	R6	×			分収林整備をR4年度予定し要望していたが、森林整備機構の予算確保が困難であったため、R4年度に実施が出来なかった。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (H・R)	最終実績 見込み								
特別措置を適用して行う事業	村道整備事業		710m	R4	710m	事業は順調に進んでおり、計画通りに完了を見込んでいる。							
	林道整備事業		1,300m	R4	1,396m	事業は順調に進んでおり、計画以上の整備が見込められる。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業													
③評価方法	泰阜村総合戦略推進会議にて検証を行った。												
④中間評価の公表方法	泰阜村ホームページにて公表												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した村道整備と林道整備をを一体的に行うことにより、孤立集落を無くアクセス時間短縮や山村地域における安全で安心して暮らせる環境づくりを図り、商業・林業の発展により、村の発展を目的としている。R4年度に実施予定をしていた分収林整備についてはR5年度17ha整備を予定しいる。R6年度についても引き続き目標達成に向け事業を進めていく。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・○無） 令和6年度予算要望額への反映（○有・無） 有りの場合の増減額 8,000千円					林道万古川線の整備の計画を見直し、当該路線で計画箇所以外にも落石、崩落が見られるため整備量の増となった。							
⑦今後の方針等に対する対応	●林道の事業費の見直し 認定時12,000千円→見直し後28,000千円[16,000千円増(うち中間評価結果を反映した増額16,000千円(うち交付金8,000千円)増)]												